

# 平成30年度 高田小学校職員の自己評価結果（2学期分）

2学期教育反省

【評価】 4：よくできている，3：できている，2：あまりできていない，1：できていない

太字：2.5以下

グレー欄かけ：前学期

努力目標	実践事項	1学期	2学期
命を大切にする心・規範意識の確立・健全な心の育成	① 「特別の教科道徳」の目標に沿った「私たちの道徳」「熊本の心」「つなぐ」の活用を含む、心に響き生活に生きる道徳授業の充実と道徳教育の日常化	2.94	3.06
	② 「不登校対策やつしるプラン」と「本校版いじめ防止基本方針」の推進	2.72	3.00
	③ ・認め合い、つながり合い、助け合い、高め合う日常的人権教育の推進	2.89	3.11
	④ ・思いを伝える表現力の育成と、受け入れる仲間関係の醸成	2.84	3.11
	⑤ ・自他の命を大切にすることを推進（命を大切にすることを育む指導プログラムや生徒指導充実月間の実践）	2.83	3.06
	⑥ 「やつしるスピリッツ」の推進による育ちと学びの土台づくり ・言語環境の整備（あいさつ、言葉遣い、話す聞く態度等）	2.79	2.89
	⑦ ・落ち着きある生活の定着（チャイムに沿った行動、廊下歩行等）	2.68	2.84
	⑧ ・整理整頓（服き物を揃える、机の中や棚の整理等）	2.68	2.68
	⑨ 読書活動の充実（ハッピーブック運動の活用、学校図書館の計画的活用等）	2.68	3.00
	⑩ 活躍の場を設定した、責任感と自主性を育てる児童会活動等の推進	2.84	3.00
	⑪ 学校生活向上への貢献意欲を喚起する特別活動等の推進	2.50	2.83
	⑫ 美しい教育環境づくりの推進（整理整頓、美化活動、掲示物の工夫等）	2.74	2.95
	⑬ 児童自ら取り組む環境づくり体験の推進（愛校作業、掃除充実など）	2.74	2.74
豊かな学力の確立	① 諸調査の結果分析に基づく指導方法・指導体制等の工夫改善と実践	2.56	2.79
	② 適切な目標設定と評価の工夫、これを踏まえた強化・改善の実施	2.72	2.79
	③ ・「学力向上やつしるプラン」と「熊本型授業」等の推進	2.61	2.79
	④ ・学びの環境づくり（めりはりある暮らし・支え合う仲間・集中できる環境）	2.89	3.00
	⑤ ・わかる授業づくり（学び合う授業、UDとALの視点からの学習の意欲化）	2.67	2.84
	⑥ ・計画的、意図的に思いを伝え合う言語活動を位置づけた授業実践	2.78	2.95
	⑦ ・伝え合いとなる思いや発想を広げる手立て	2.39	2.74
	⑧ ・児童の語彙力・表現力を豊かにするための教師の言語表現の改善	2.72	2.68
	⑨ ・家庭学習の習慣づくり（家庭学習のすすめと効果的取組・家庭との連携）	2.83	2.89
	⑩ ・家庭学習内容の充実（家庭学習の手引き活用、授業や生活との連携）	2.67	2.79
	⑪ 困り感のある児童への支援体制確立と支援の充実	2.84	2.95
	⑫ 学習形態の工夫と充実（少人数指導、T.T、個別指導、合同授業、交流授業等）	2.79	2.95
	⑬ 児童の個性に応じた指導方法や教材教具の工夫（ドリル学習、ICT活用等）	2.89	2.95
国際化・情報化に対応する指導の充実	⑭ ・授業者のICT機器活用モデル提示と児童がICT機器に慣れ親しみ活用できるようにする日常的指導	2.67	2.63
	⑮ ・情報モラルを伸ばす系統的指導	2.17	2.42
	⑯ 諸外国の文化とともに、我が国や郷土の文化の理解を深める学習の実践	2.50	2.84
	⑰ 英語科・外国語活動の計画的実施と指導力の向上	2.29	2.94
健康を守る能力とたくましい心身の育成	① 健康に関する正しい情報の提供（食育を含む）と保護者啓発	2.78	2.84
	② 学校での健康的な生活の実践力育成（手洗い・歯磨き・うがいの励行、食育指導）	2.79	2.95
	③ 家庭での健康的な生活の実践力育成（家庭・五菜連との協力）	2.39	2.68
	④ 体力テスト結果に基づく教科体育の改善（体育指導の手引き）活用等	2.59	2.74
	⑤ 将来にわたって運動に親しむ態度の醸成（必要や状況に応じて外遊びや運動ができる子）	2.83	3.00
	⑥ 計画的指導による交通・生活両面の安全意識の向上と危機回避能力の育成	2.94	3.00
夢や目標に向け継続して取り組める力の育成	⑦ 防災に関する学年に応じた知識と危険予測学習等による自助力の育成	2.89	3.00
	⑧ 定期的な安全点検、環境点検の確実な実施と迅速な対応	3.00	3.11
	⑨ 好奇心・自信・勇気を喚起する日常的な働きかけと、一貫性・継続性を向上させる励ましの励行	2.79	3.00
地域と共にある学校づくり	① 家庭・地域への積極的な情報発信、情報（ニーズ）の収集	2.83	2.89
	② 地域の「人・もの・文化・産業等」を生かす地域に根ざした体験活動の推進・地域に学び、地域に参加・貢献する学習活動の創造	2.12	2.53
	③ ・地域の教育力を取り入れた学習機会の設定（G.Tの活用等）	2.35	2.63
	④ ・第五中学校区の小中連携一貫教育に関する取組の推進	2.56	2.79
	⑤ ・学校外の方に対する適切な接遇実践（人として教育者としての高い意識）	2.78	2.74
その他	○学級や教師個々の黒板や壁に貼った目標	2.63	2.88

昨年度も、学校便りで講評しましたが、保護者の皆様に学校評価を協力頂いているのと同様、職員も自身で学校教育について評価・反省をしています。

左は2学期末のものであります。

全般的に、1学期より数値が向上しているのは、職員一人一人が学校の課題を認識し、また各学級の実態に応じた取り組みを行ったことで、児童の姿に改善を感じているが故です。

但し、網掛け部は、評価が下がった部分です。「児童の語彙力・表現力を高めるための指導が十分にできなかった（又は、取組内容そのもののに改善が必要と考えている。）」「ICT機器の日常的指導が不十分。」との思いです。

3学期は、せっかく向上した評価が後戻りしないよう、また、評価が下がった、あるいは足踏み状態の項目の改善に向け、全職員で取り組んで参ります。